

横浜市議員 仁田昌寿



# まさとし通信

発行  
 仁田 まさとし励ます会  
 〒232-0066 横浜市南区六ツ川4-1129  
 TEL045-822-3410 FAX045-826-0998  
 [ Vol.6 ]



勝の事とお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、ますますご健

## ごあいさつ

過日行われました、第十四回統一地方選挙におきまして、仁田まさとし市会議員は、一万二千九百八十四票を獲得し、横浜市会二期目もトップ当選を果たしました。四月三十日に初登庁の後、五月に入り、本会議が開催されました。仁田議員は、常任委員会では経済港湾委員会に所属し、特別委員会では災害対策特別委員会の副委員長に就任しました。また、公明党横浜市会議員団では、政策審議会



皆様のおかげで二期目も  
**トップ当選でスタート**

過日行われました、第十四回統一地方

選挙におきまして、仁田まさとし市会議

員は、一万二千九百八十四票を獲得

し、横浜市会二期目もトップ当選を

果たしました。四月三十日に初登庁

の後、五月に入り、本会議が開催さ

れました。仁田議員は、常任委員会

では経済港湾委員会に所属し、特別

委員会では災害対策特別委員会の副

委員長に就任しました。また、公明

党横浜市会議員団では、政策審議会

事務局長に就き、今後の政策推進の要と

して活躍が期待されます。

過日の、市会議員選挙におきましては、

絶大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

新世紀を目前にし、地方主権の姿

も臆気ながら見えてきました。いよいよ

これからは、哲学のある政治、目的観の

実感できる政治が求められます。私が初

出馬以来掲げております「人間主義へ挑

戦」こそ、時代に応えるものとますます

確信しております。

一人の人を大切に、三百三十七万市民

のため、全力で頑張つてまいります。

ますますのご支援・ご鞭撻をいただき

ますようお願い申し上げます。

## 衆議院選挙 大勝利目指して

### 神奈川六区で

### 精力的に活動

上田 勇

神奈川第六区(保土ヶ谷区・旭区)から次期衆議院選に出馬を予定している上田勇衆議院議員は、地域住民との懇談会等を活発に展開。自民・民主・自由各党の候補者もほぼ決定し、全国有数の激戦区と目されています。公明党横浜市会議員団は、上田勇の勝利の為に、全力で戦います。



### 《上田 勇のプロフィール》

生年月日 昭和33年8月5日生まれ、横浜市出身  
 「学歴」 昭和56年3月 東京大学農学部卒業(農業工学科) 昭和61年 米田コーネル大学経営学大学院修了  
 「職歴」 昭和56年4月 農林水産省入省  
 平成5年7月 衆院選に初当選(旧神奈川1区) 平成8年10月 衆院選に2回目の当選 党中央幹事 基本政策委員会副委員長 法務委員会理事

# 横浜市議会・報告

五月十三日より二十八日まで、第二回横浜市会定例会が開催されました。二十日に行われた本会議では、公明党を代表し、仁田昌寿議員(南区選出)が、「横浜市介護認定審査会条例の制定」と「市立大学付属2病院に設置される高度医療機器の取得」に関する議案に関連し、高秀市長に対して質問しました。

## 「六十五歳以上の介護被保険者全員に案内を！」

来月四月の介護保険制度の実施に先立ち、本年十月から介護認定が行われます。今回の条例は介護認定の為に審査会を設置するものです。質問の中で仁田議員は、約六万五千人と見込まれ

る要介護者の認定申請を円滑に受け付けるよう強調。制度に対する市民の理解が不十分であることを指摘し、「特に介護認定についての広報を、認定手続きが始まる十月までに、対象者全員に

行つべきである」と主張しました。これに対し、高秀市長は「六十五歳以上の被保険者すべてに対し、制度の案内や具体的な要介護認定の申請手続きの案内パンフレットを送付する」ことを明らかにしました。

市民総合医療センター完成予想図

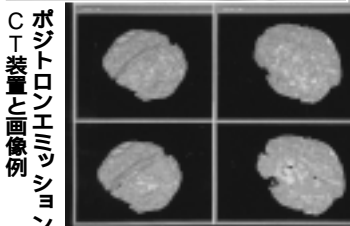


## 「市大病院の高度医療機器の有効利用を図れ」

来月一月に開院する市民総合医療センター(現浦舟病院)に設置する医療機器の導入により「診断能力や治療法の充実、更には、検査・調剤業務の効率化が図られる」ことが明らかになりました。

また、福浦の市大付属病院に設置される最先端の病理診断機器であるボジトロンエミッションPET装置に関して、地域医療機関との共同利用を積極的に推進すべきであると主張。市長からは、「広く地域の医療機関と連携を図り、診断・検査依頼などに積極的に対応し、有効活用を図る」との答弁を得ました。

最後に付属病院で起きた患者取り違え事件について、市民のための医療に徹すべきとの立場から質問。病院改革委員会を設置し、病院の運営システムの改善、組織管理の見直し、医療教育の在り方を中心に、病院の抜本的な改革について検討していることが明らかとなりました。

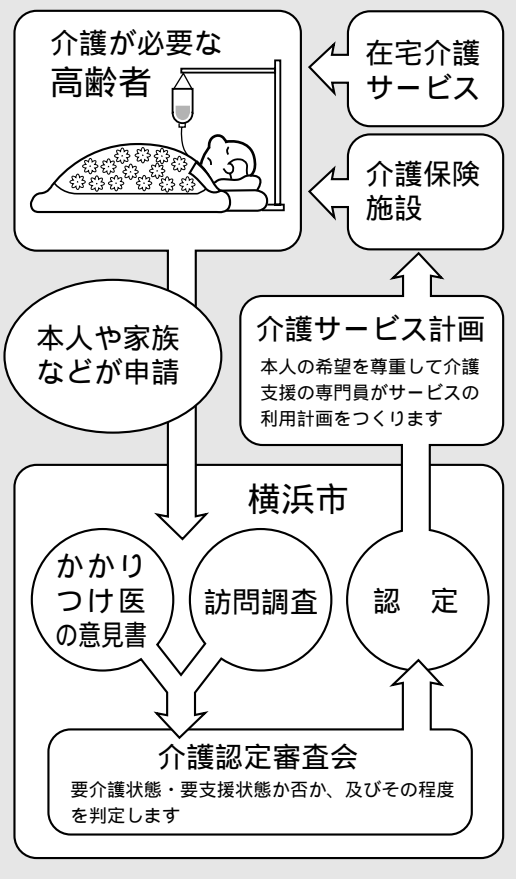


ボジトロンエミッションPET装置と画像例



本会議で質問する仁田昌寿議員

## 要介護認定とサービスの利用方法



# 上げたり下げたり ガイドライン 混乱する 共産党

五月二十日の本会議において、共産党議員が、議長の指名を待たずに、「新ガイドラインの立法化に関する意見書の提出」という同党提出議案を直ちに議決することを求めて演壇に駆け寄りました。

## ネットが共産を支援

横浜市議会では、神奈川県内広域水道企業団議会に四人の議員を選出してきました。

今回の議員選出においては、神奈川県ネットワーク運動横浜が、従来、同水道企業団議会に議席のなかった共産党に協力して共産党の候補に投票しました。

これは神奈川県ネットワークが来年の水道企業団議員選出の際に共産党の支援を得るという前提の上でなされた行動です。四月の選挙においては、あたかも主義主張の違う政党のように市民に訴えておきながら、政策協定もなく役員ポスト欲しさに協力し合ったとしか言い様がありません。



宮ヶ瀬ダム

しかし、慎重審議をすべきという大勢の意見によりこの動議は否決。委員会では審議を開始したところ、共産党議員が冒頭この同党提出議案を「撤回したい」と発言。たった五日間で心変わり。この首尾一貫しない姿勢を公明党議員がすくなく追求。さらに驚くことには共産党は、最終日の本会議に、撤回をした議案と同じ内容の議案をまたもや提出。共産党の提出、取下げ、再提出という不真面目な態度に、共産党議案は、圧倒的多数で否決されました。

## 公明党が賛成した主な案件

- q 横浜市介護認定審査会条例の制定
- w 横浜市高速鉄道運賃条例改正 (土・休日割引回数乗車券を新設)
- e 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- r 地方分権一括法案の早期制定を求める決議
- t 横浜地方裁判所の裁判官増員を求める意見書

## 公明党が反対した案件

- q 十八歳選挙権の早期実現に関する意見書の提出(請願者「日本民主青年同盟」)

## 横浜市医師会などの政策懇談会を開催

六月一日より四日間、福祉団体など二十団体との政策懇談会を開催しました。公明党横浜市議団は、市民の声を予算に反映させるため、毎年、各団体との意見交換を行っています。各団体からは、市政に対しての様々な要望が述べられるとともに、施策に関する議論も活発に行われ、実りある懇談会となりました。国政に関するものは、衆議院議員上田勇氏などを通して要望していくこととなります。



# 就学児童の2、4%占める LD(学習障害)児の教育環境整備急げ!!

知的な遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなどの特定の能力の習得で著しい困難を示す「LD(学習障害)」の子どもたちが増えています。その数は就学児童の二、四%(平均すると一クラスに一人)ともいわれています。LD児が、通常の学校で授業を受けるには、特別な配慮が必要ですが、現在のところ、LD児を専門に指導する制度は公立の学校にはありません。

仁田議員は、LD児の教育環境整備を議会で取り上げるなど、熱心にこの問題に取り組んでいます。六月十七日、LDの子を持つ桜井左右美さんと小沢操さん、元教員の村上みつ子さんが、仁田議員を囲み、LDで悩む家庭、教育現場の声を、行政に反映するための話らいの場を持ちました。

意見交換で桜井さんは、子どもがLDを理解する教育関係者や専門の医師に恵まれ、症状が大きく改善されてきた経験を語りながら、「私の子は恵まれたケース。知人の子の多くは、周囲の理解がないまま悩んでいる。教育現場に一人でも多くの専門家を育ててほしい」と訴えました。また現在、民間のLD指導教室に通う小学生を持つ小沢さんは、「LD専門の通級を一つでも多く設置してほしい」と望んでいます。また、村上さんは「LD児を持つ親の悩みは深い。不登校の子どもや両

親のケアも含め、地域の住民とボランティアが加わった環境づくりが必要」と指摘しました。こうした声に仁田議員は、「通級教室を増やすなど教育環境づくりへ取り組んでいきたい。民間の力も行政が活用していくことも大事だ」とLD対策を強く推進していくことを約束しました。



LD対策の行政の課題などについて親、元教員から話を聞く仁田議員(左から2人目)

# 中学校の昼食のあり方について 一歩前進

仁田議員は、中学生のより良い昼食環境を確保する為、選択できる昼食の実現に取り組んで来ました。

この度、市立緑が丘中学校において、外部委託業者による昼食の販売を開始しました。

中学校の昼食は、愛情ある手作り弁当を基本として、何らかの理由で自宅から弁当を持参できない生徒への対応策の一つとしてパンや飲み物の自動販売機の設置を推進してきました。

今後は、さらに選択性の拡大のために、複数統一メニューで外部業者委託形式によるスクールランチの実現に取り組みんで参ります。



市立緑が丘中学校ふれあいコーナーでの昼食時間

## お知らせ!!

### 法律相談が予約制に!

市会公明党控室では、毎週金曜日(午後2時から4時)無料の法律相談を実施しています。この無料相談は近年、相談者が多くなり、待ち時間が大変長くなりました。そこで、一人当たりの相談時間を確保するために予約制としました。

#### 予約のしかた

\* 議員または市会公明党受付にご相談ください。

TEL 671-3023

## ホームページ&メール

ホームページを開設しています! 皆様のご意見をお寄せ下さい。

E-Mail

nitta-m@yk.rim.or.jp

URL

http://www.yk.rim.or.jp/nitta-m